

【23_210技術系メルマガ】トレードの迷いを減らす考え方

〇〇さん

こんにちは、クロです。

トレードでは、色んな局面でトレーダーを迷わせる要素があります。

主に「ここでエントリー / 利確 / 損切りするべきか？」というものがほとんどでしょう。

これらの迷いが生じる理由の中でも最も大きいのは『損失に対する恐怖』かもしれません。

この恐怖の感情は、望んでなくても勝手にわいてくる厄介な奴で、トレードにおける迷いの主な原因であると言っても過言ではありません。

なるべくこの迷いを減らすにはどうしたらいいのでしょうか？

その一つの解決策が、『損切りを先に決める』事です。

□
└─ ■ 自分が負う『リスクのサイズ』を先に把握しておく
└──────────────────────────┘

こう書かれてもピンとこないかもしれませんが、損失の恐怖というのは

「自分がこのエントリーをした時に、どの程度損するかがわからない」という、先の見えない不安から来るものも多いのです。

ならば、自分があらかじめどの程度の大きさのリスクを負うか分かっているならば、退くか攻めるかの判断が明確になりますよね。

トレードで大事なことは「勝つ」ことではなく『“継続的に” 稼ぐ』事であり、そのためには『リスクの把握』と『最小化』を行う事が最も重要な要素のひとつです。

自分がそのエントリーで「負けた場合」に支払うコストがいくらなのかを把握し、その分に見合った『リワード』を得られる見込みがあるのか？

そこまで考えて初めて、そのエントリーには優位性があると判断できるわけです。

例えば、飲食店を例に考えてみましょう。

飲食店は、その業態や規模によってまちまちですが、基本的に「設備コスト」「材料費」「人件費」といった

諸々のコストを先に支払ったうえで、収益を挙げないといけない点にその難しさがあります。

トレードで言うなら、損切りのお金を結果が出る前から払っている状態に近いかもしれませんね。

それで無事に黒字になれば、支払ったコスト以上のお金が返ってきますが、失敗すれば当然ながら先に支払ったお金は返ってきません。

なので、読めば当たり前の話のように思えるかもしれませんが、飲食というビジネスを成功させようと思う人は

必ず『事前にリスク(コストの幅)』を把握しようとしています。

これが不思議なことに、トレードとなると「エントリーが先行」し、先立つべき「コスト計算」があと回しになってしまう。

これでは、負けが込んで退場になってしまっても仕方ありません。

そうならないためにも、今ここでそれに気付いた人は、行動を変えていきましょう。

□

■ 『型』でセットアップを決めておけば、損切りも楽に決められる

▼過去のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1519490600495726592?s=20&t=UxOsMZ-rGoKQLNpkvtkSdQ>

これは結構昔のツイートですが、「損切りを前もって決めるなんて、そんなことできるんですか？」とよく聞かれます。

結論から言ってしまうえば、ツイートに書いた通り、『型』さえ決まっていれば前もって『損切りの場所』を決めるのは簡単です。慣れれば数秒でできます。

何故そんなことが可能なのかというと、自分がどんな条件でトレードするのかを『型』として定めてあれば、その型が『否定される条件』もおのずと決まるからです。

僕のセットアップである『MA収縮⇒発散』+『3波理論』であれば

上記ツイートの図の中でも表現されているように、自分が認識した

『収縮MAを脱出した“1波”』を全戻している場合「動き出しの勢いが否定された」と解釈します。

ですので、損切りの位置は原則『1波の発生起点』に置くと決まります。

応用編として、それだと損切幅が広くなる時にはM5足以下のチャートパターンに『分解』して

パターンが否定されたところで損切りするという考え方もやっているのですが

説明すると長くなるので今回は割愛します。(エントリーツイートにヒントは書いているので、色々考えてみてください)

今回は、割とテクニック色が強い話になったので長くなりましたが

大事なのはいつも定めている自分の『型』に沿って、常に『一貫した損切り』を最初に決めてやり

リスクを事前に把握したうえで、そのエントリーの是非を判断するという意識である。

それを日々念頭に置いてもらえたらと思います。